ゆすはら町議会だより

平成21年7月

四万十源流 第68号

題字　議長　二宮近雄

鮎つり（椨原川）～椨原町大蔵谷～

ー６月定例会ー

議会の組織決まる【5月臨時会】 2
議長に二宮近雄氏選任 2
教育委員に掛橋水和氏選任 3
一般会計総額49億2千756万6千円に【6月定例会】 4
行政報告 5
多事論争［一般質問］ 6
意見書提出 8

発　行／椨原町議会　高知県高岡郡椨原町椨原　TEL　0889(65)1111
編　集／議会広報編集委員会　印 刷 所　㈲中島出版印刷

臨時議会

議会の組織決まる

議長に　二宮近雄氏
副議長に　市川吉朗氏

去る5月1日に臨時議会が招集され、議会組織の改選を行った。

正副議長の選挙を行い、投票の結果、議長に二宮近雄氏、副議長に市川吉朗氏をそれぞれ選出した。

また、議会運営委員会委員、各常任委員会委員、議会広報編集委員会委員の選任が行われ、新しい組織が決定し、この新体制で運営が図られることとなった。

また、今臨時会において専決処分3件、人事案件を含む5件が上程され、いずれも原案どおり可決して閉会した。

二宮近雄　議長

市川吉朗　副議長

就任のご挨拶

議長　二宮近雄

去る5月1日の組織議会におきまして、議員各位の御推挙をいただき、町議会議長の要職に就かせていただきました。

誠に身に余る光栄でございます。

同時に、その責任の重さを一層痛感いたしております。

日本の国は司法、立法、行政から成り立っており、我々議会は、立法の付としての与えられた仕事を果たさなければなりません。

そのために大切なことは日々の勉強もさることながら、町民の皆さんが安心で安全な暮らしをしていくためには何をすべきなのかを考え、議員活動を積極的に行いながらお互いが切磋琢磨し、それぞれの立場で議会内や行政と活発な議論が展開できたなら立法の付としての役目、役割に繋がっていくのではないかと思っております。

町内にはまだまだ道路網の整備や、町勢発展のために重要な課題も山積しており執行部と共に解決しなくてはならないと考えております。

ここに皆様のご推挙を受けた上は、議員一人一人と調和をはかり、議会人として是是非非の立場で議会の役割をしっかりと果たし、町民の皆様がここに生まれて良かった、住んで良かったと言われる町づくりのため、議会一丸となって取り組んで参りますので、なにとぞ皆様方の手厚い御支援と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、私の就任の挨拶といたします。

新しく各委員会決まる

よろしくお願いします

各常任委員会組織

議会運営委員会
委員長　中越計清
副委員長　西川慶男
委　員　土釜　清
委　員　市川岩亀
委　員　森田幾弥

総務教育厚生委員会
委員長　高橋基文
副委員長　西川慶男
委　員　二宮近雄
委　員　中岡俊輔
委　員　中越好久

産業建設委員会
委員長　土釜　清
副委員長　森田幾弥
委　員　市川吉朗
委　員　市川岩亀
委　員　中越計清

議会広報編集委員会
委員長　森田幾弥
副委員長　土釜　清
委　員　高橋基文
委　員　市川吉朗
委　員　中岡俊輔

専決処分３件を承認

平成20年度高知県高岡郡梼原町一般会計補正予算（第7号）

平成20年度高知県高岡郡梼原町一般会計において地方交付税や地方債等の額の確定に伴い補正予算の必要が生じたため、平成21年３月31日付で専決処分したもの。

梼原町税条例の一部を改正する条例

梼原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成21年３月31日に地方税等の一部を改正する法律が公布され、同年４月１日から施行されることに伴い、梼原町税条例の一部を改正する条例及び梼原町国民健康保険税条例について、同日付で専決処分したもの。

（全員賛成）

工事請負契約

平成20年度（繰）路網整備地域モデル事業坊主線作業道開設工事
路網整備地域モデル事業坊主線工事契約を行うもの
契約方法　意向確認型指名競争入札（簡易型総合評価方式）
契約の金額　5千649万円
契約の相手方　株式会社　四万川総合建設
代表取締役　西村義幸
完成期限　平成22年3月26日

（全員賛成）

教育委員に掛橋水和氏選任

教育委員の辞職に伴い、その後任の教育委員に、掛橋水和氏の選任同意を求められたもので、満場一致で同意選任された。

◎プロフィール

掛橋水和（かけはし・みわ）

梼原高等学校、愛媛女子短期大学卒。代々続く神職として活躍、栄養士やホームヘルパーの資格を持ち、幼児教育やＰＴＡ活動などに熱心に取り組む二児の母

東町在住　44歳

6月定例会

まちづくり交付金事業他 9億8千456万6千円を追加

一般会計総額 49億2千756万6千円に

第285回梼原町議会6月定例会が6月8日に招集され、会期を9日までの2日間として開催された。

今定例会は、一般会計補正予算をはじめとする議案2件、議員発議2件を原案どおり可決した。

一般質問は9日に、2人が登壇し、保育所・幼稚園統合などについて質問を行った。

提案理由を説明する中越町長

一般会計補正

歳入歳出それぞれに9億8千456万6千円を追加し、その総額を49億2千756万6千円としようとするもの。

主なものとして津野山農業協同組合跡地に設置するまちの駅（観光交流センター）及び雲の上のホテルと雲の上の温泉を廊下で結ぶ地域交流センター（ギャラリー）建設工事請負費として5億8千202万5千円、環境モデル都市推進に関連する低炭素燃料製造・供給等の設備を整備するための工事請負費1億1千998万7千円を含む木質バイオマス循環モデル事業費1億2千282万6千円、「龍馬伝サテライト」として使用する歴史民俗資料館の改修費を含む観光開発事業費に5千220万2千円、道路橋梁維持費に8千万円、砂防費に1千658万3千円、基金積立金に8千376万5千円、その他で1千136万6千円を計上し、これらに対する財源として繰越金、国庫補助金、県補助金及び町債などの歳入を計上。

JA跡地

質疑

問　中岡俊輔

まちの駅完成後、施設の維持管理運営について問う。

答　町長　中越武義

建物の交流施設の部分は商工会が建てる建物であり今後の運営については、商工会が運営していただくものと考えているので、町として、助成をするつもりはない。

問　西川慶男

まちの駅の物産販売について、一次産業振興につながるので、ＪＡにやらすべきではないか。

施設整備について、商工会の負担が大きすぎるのではないか。

答　副町長　矢野富夫

商工会が中心となり、農協の全面的協力を得て、各種団体が一つになって連携をとりながら、梼原の物産センターの拠点として取り組まなければならない。

現在計画中の物産展示面積と交流施設床面積の割合により、商工会負担は59・8％相当、4千350万円となっている。

（全員賛成）

地芳道路一時凍結　どうなる!!「命の道」の整備は

6月定例会の開会にあたり、町長は挨拶に引き続いて3月定例会以降の行政報告を次のような要旨内容で行った。

総務課関係

一、昨年から整備していた梼原町情報通信基盤整備事業が平成21年3月25日完成した。

この事業は、町内全体に光ファイバー網を敷設して町民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

そのために災害時等の緊急連絡や携帯電話、高齢者等の日々の見守りを行うために音声告知端末の各世帯への設置、産業振興につながる高速インターネットへの接続、情報過疎とならないため地上デジタル放送への対応等を目的に整備した。

二、現在の第5次梼原町振興計画「森林と水の文化構想」は、現在の計画が目標年次を迎えることから、本年12月を期限として「第6次梼原町振興計画」を策定中である。

策定にあたっては、公民協働での策定をめざして、広く町民から公募し、公募者、各区長・各種団体から推薦された12人の委員で構成している。

三、昭和53年5月17日に久保谷山中に墜落した海上自衛隊機に搭乗していた13名が殉職された。

昨年、30年を迎えたことを機に、事故現場への新たな「殉難の碑」の建立と、久保谷の県道沿いの「とさの森」上流付近に慰霊碑を移設することになり、平成21年5月15日、移転披露及び慰霊祭が行われた。

四、新型インフルエンザについて、本町では4月28日午後5時に災害対策本部の体制を確認し、有事には迅速に対応できる状況を整え、今後の状況を見極め柔軟な対応を図る。

このことを踏まえて、高幡広域市町村事務組合及び梼原町中学生海外派遣事業のオーストラリア派遣事業については事業中止となった。

五、5月4日の夜にイカ釣りに出かけた、上西の川、松田清繁氏が行方不明との情報を受け、県警や海上保安庁等協力し、梼原からも消防団長をはじめ、区の皆さんが共に参加をして捜索にご尽力いただいたが、5月10日午前11時50分室戸沖の海洋で遺体を発見し、後に本人と確認された

六、平成20年度一般会計及び特別会計の13会計の出納閉鎖を5月29日に行った。

世界的な経済不況の中で本町の決算の結果は、大変大きな成果を上げることができた。

監査委員の審査に付し、議会の承認をいただくよう提出をさせていただきたい。

環境推進課関係

一、3月31日国土交通省が「地芳道路」一時凍結を発表した。

4月3日、この発表を受けて、愛媛県久万高原町とともに四国整備局の木村昌司局長を訪問し、地芳道路に対する凍結早期解除と事業実施の要望を行った。

また6月8日、高知・愛媛両県知事と住民代表が四国地方整備局長に、地芳道路の凍結解除と再着手に向けての署名活動を久万高原町と共に行い、その要望書(1,300人署名簿)を高知県及び愛媛県知事と両県の住民代表が四国整備局長に持参、要望を行った。

二、4月22日、NEDOと経済産業省は、平成20年秋より地方公共団体、事業者等により実施された新エネルギー等導入事業を公募し、地域の特性などを考慮しつつ、全国各地における新エネルギー等利用の優れた取組を「新エネ百選」として選定したもので、梼原町が唯一選定された。

6月1日、選定証授与式では、100団体を代表して中越町長が吉川貴盛経済産業副大臣から選定証を授与された。

三、土づくりセンターでは、4月以降、3回の火災が発生し、その都度、消防にお世話になった。

今後、二度とこのような事が起こらないよう施設管理をはかっていく。

四、中山間地域等総合対策検討会の専門委員として中越町長が委嘱されたことから、3月4日の第1回検討会を皮切りに、検討会及び現地調査が開催され出席している。

五、定額給付金給付については、併せて、商工会により10%のプレミア付きの特別商品券「ゆすはら元気商品券」を発行、販売することにより地域経済の活性化を図った。

六、平成22年に放映されるNHK大河ドラマ「龍馬伝」に併せて、高知県知事を会長とする土佐・龍馬であい博推進協議会が結成され、準備を進めている。

梼原町もサテライト会場の一つとして選定されたことにより、歴史民俗資料館を会場として実施することになった。

本町においても、維新の志士を活かして梼原を元気にする会を組織して、運営委員会を開催するとともに、特産部会、整備部会、広報部会を開催して準備を進めている。

一般質問　多事争論

（いろいろな事柄について議論すること）

一貫教育について

問　高橋　基文

さて2月10日に保育園、幼稚園の保護者を集めての一元化説明会が、教育委員会よりあった。

議会でも、西川小学校の統合時に起こったような問題が発生しないよう、申し添えたことであった。

しかしながら、保幼一元化計画は初耳であり、ましてや22年4月開園というのも初めてきくことであった。各保護者からは

「話し合いがないままに強引に始めてしまうのか」

「西川小学校の時と何も変わっていないじゃないか」

という姿勢に対する批判と、（施設設備の充実をはかるうえでの、保護者の意見が反映できないのか）という不安が大半であった。

「地域全体の教育をどうするのか」

という考え方を持つこと。そのことに対して「しっかりと議論されているのか」が重要である。

教育委員会の説明では品川区、横浜市の良い点のみしか説明されてはいない。あえて、反対意見をご紹介すると、

①品川は学校選択制度の延長にあり、学校の特色化を進め早期からの子供の選別へと行きつつあるのではないか。

議論の原点核心に置くべきは一緒に学びつつなおかつ個性を伸ばせるような丁寧で豊かな学校こそ作り出すことが住みよい地域づくりだと。

この構想は教育学的にも確かな根拠がない危うい実験を、親や地域の合意もなく強行するもので無謀な実験によって子供を傷つけてしまう可能性がある。

これに関しては私も同感で、全国一律で行うなら解るが、実験で失敗したからやり直す、などということはけっして起こってはならないこと。ましてや子供で試すことはあってはならない。

これには保護者として子供のために何をしなくてはいけないかしっかり考え未来において子供たちに不利益な影響が出ないようにすることもたいへん重要である。

②「中高一貫との兼ね合いなど地域全体の教育をどうするのかという議論をしっかりとしなければ小中一貫は一時的な「流行」になりかねない。

跡地の利用も大変重要であり、教育の問題と併用して考えることが重要である。

教育委員長、教育長、町長の考えを問う。

系統的な教育を

答　教育委員長　矢野　博正

保幼一元化については、現在の幼稚園舎建設の時、保護者からの要望に基づき保育所と幼稚園を一元化する椿原型幼児教育保幼一体化の施設として平成13年度に建設をした。

現在の子どもたちの現状と課題は、県の方も緊急プランとして、子育て支援、親育て、保育所、幼稚園からの現場の声、また発達段階に応じた系統的で連続した幼児体制の確立が急がれる理由から小中の一貫の前に、幼稚園、保育所の一元化を図ろうと考えている。

小中一貫に関しては、子どもの成長や小中の先生方の意識の違い等から、現行の6・3制の枠組みでは適切に対応できないという指摘もされており、そのため義務教育期間の9年間を子どもの心身、特に脳の成長実態に合わせた教育課程として4・3・2というまとまりに再編し、系統的な教育を展開していく必要があると考えている。

答　町長　中越武義

今の教育の大きな課題は、全てが行政や学校の先生に方向性をゆだねているのは、問題がある。教育基本法の中には、保護者が果たさなければならない枠があるという事もはっきり書いている。

お互いが健全な育成のために、子どもたちの発達のために役割分担を果たして、方向づけを見出して、椿原の将来を担う、高知を担う、日本を担う。また、世界に目が向けられる子供たちの健全な育成のために、力を発揮してもらいたいと考えている。

町長選出馬について

問　市川　吉朗

町長におかれましては就任以来、端ばしまで陽の当たる町政をの念いで今日まで町政発展、町民の福祉向上のために、日夜ご尽力頂いている事に、町民の一人として敬意と感謝を申し上げる。

去る3月議会において、10番議員の一般質問にもあるが、今年12月任期満了となる次期町長選挙であるが町長の答弁では、後援会長との話もしていないし、いま大切な、施政と予算を計上し、審議中であり12月の方向性を述べる段階でない、との答弁であったが季節も6月に入り、あと半年ありであり、今議会で表明があっても良い時期ではないかと思い町長にお伺いする。

町長は就任以来休日を利用され町内廻りを続けておられ林道の隅ずみまで目を徹され、また、町民との対話を実行して来られ町民の声や空気等、われわれ以上に把握されていると思う。

衆院解散総選挙が近々ありきの報道もある中、今月には津野町の議員選挙がある。町民のみなさん方の関心ごとの一つでもある。

町長は一刻も早く表明をされ、町民の不安を解消し安心をさせてほしいと思う。

４期目出馬はあるのか問う。

いまだ表明せず

答　町長　中越　武義

３月の議会では、まだ私の後援会長と話をしていないと申し上げていますが、今回はそんなことよりも、直面するこの町の大きな将来的な課題の推進ができることが、私に今与えられた責務であり今、将来をどうする、というお答えをする段階にない。町内では皆さん方が12月に向かって大変心配をしていただいていることを承知もしているが、身の引き締まる思いが致しており、町民の皆さん方と一緒に、この町を良くしていきたい。将来につながるような町にしていきたいという、強い思いであります。体力も気力も、その思いも変わりはないが、先ほど申し上げましたように今、進めなければならない、分かりやすい説明をし、取り組んでおることが将来につながる、まちづくりの基礎的なものを整えることが私に与えられた責務であり、そこに力を注いでいきたい。

総合庁舎全景

「非核日本宣言」を求める意見書を提出

核兵器のない世界を実現するために、いま国内外で大きな努力が求められています。

来年５月、ニューヨークの国連本部で2010年核不拡散条約（ＮＰＴ）再検討会議が開かれます。

2000年５月、核保有５ヶ国政府は「自国の核兵器の完全廃絶」を「明確な約束」として受け入れ、世界は核兵器廃絶の希望をもって新たな世紀を迎えました。しかし、それ以後９年を経たいまも、「約束」実行の筋道はついていません。いまなお世界には膨大な核兵器が維持、配備されています。北朝鮮の核実験にみられるように拡散の危険も現実のものとなっています。

こうした状況を打開するために、日本政府にはヒロシマ、ナガサキを体験した国として、核兵器の廃絶の努力を世界によびかけ、促進する強い義務があります。

また、その努力を実らせるためには、みずからも証として非核三原則を遵守し、世界に範を示さなければなりません。

私たちは、日本政府が、「核兵器廃絶の提唱、促進」と「非核三原則の遵守」をあらためて国連総会や日本の国会など内外で宣言し、非核日本宣言として各国政府に通知し、核兵器のない世界のための共同の努力を呼びかけるよう求めるものです。

以上内閣総理大臣、外務大臣に意見書を提出した。

提出者　高橋基文
賛成者　西川慶男
〃　〃　中岡俊輔
〃　〃　中越好久

おいしいお茶にな～れ（椨原幼稚園）

結構な御手前です（椨原幼稚園）

現行保育制度の堅持・拡充を求める

意見書を提出

社会保障審議会少子化対策特別部会は2月24日、現行の保育制度に代わる「新たな保育の仕組み」を盛り込んだ第一次報告「次世代育成支援のための新たな制度体系の設計に向けて」を決定した。

この「新たな保育の仕組み」は、市町村の保育実施義務の規定をなくし、介護保険制度と同じような「認定」の仕組みを導入するなど、子どもの発達と保護者（親）の就労を権利として保障する現行の公約保育制度の縮小が懸念されるものである。

少子化の進む地方においては、限られた保育所運営費の中で、施設整備や職員体制の充実を図ることができず、「待機児」を解消することができない地域や、少子化が進み保育所が統廃合され一層地域の過疎化が進む現状が生まれている。

少子化対策は国の将来を左右する最重要課題であり、国及び地方自治体による保育の拡充は、一刻の猶予も許されない課題である。

国は、児童福祉法第24条（市町村の保育実施義務）に依る現行保育制度を活かし、公的責任に基づく保育事業を推進すること、そのための保育予算を抜本的に増額し、国と自治体の責任で公立保育所も民間保育所も充実させることを求めるものである。

以上内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、少子化対策担当大臣に意見書を提出した。

提出者　高橋基文
賛成者　西川慶男
〃　〃　中岡俊輔
〃　〃　中越好久

楽しいプール遊び（若草保育所）

先生のお手伝い（若草保育所）

閉会中の所管事務審査事項

各委員会は、9月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

議会運営委員会
・平成21年９月定例会の運営について
・望ましい議会運営のあり方について

総務教育厚生委員会
・消防に関する件

産業建設委員会　・農林業の振興に関する件

議会広報編集委員会　・議会広報の発行に関する件

分収造林調査特別委員会　・分収造林の調査に関する件

議会の活動

（3月 定例会以降）

3月29日　椿原消防団入団式（議長・総務教育厚生委員長）
3月31日　議会広報編集委員会（広報編集）
4月3日　四国整備局要望（議長・高松市）
4月10日　高知県土木部要望（議長・高知市）
4月11日　区長・部落代表者会（議長）
4月14日　議会広報編集委員会（広報校正）
4月17日　教職員全員研修会（全議員）
4月25日　在阪ふるさと会交流会（全議員）
4月27日　国道439号期成同盟会（議長・高知市）
5月1日　5月臨時会
5月7日　高幡町村議会議長会総会（議長・四万十町）
5月11日　道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会通常総会（議長・高知市）
5月13日　近隣町村挨拶まわり（正副議長）
5月15日　自衛隊慰霊祭（議長）
5月15日　松山カルスト会（議長・松山市）
5月19～20日　町村議会議長・副議長研修会（正副議長・東京都）
5月22日　高知県山のみち地域づくり推進協議会総会（議長・高知市）
5月24日　物部川・仁淀川水防演習（議長・南国市）
5月25日　須崎地区地域安全協会（議長・須崎市）
5月26日　高知県須崎土木事務所要望（議長・須崎市）
5月28日　移動土木（全議員）
6月3日　議会運営委員会（6月定例会について）
6月4日　全国治水大会（議長・高知市）
6月4日　しまんと流域道路整備促進協議会（副議長・四万十町）
6月5日　四国土砂防災ネットワーク議員連盟定期総会（副議長・高知市）
6月8～9日　6月定例会

寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより　四万十源流」に対し寄付をいただきました。感謝申し上げ、ご報告します。

記

二村実建　様　兵庫県明石市

訂正とお詫び

四万十源流第67号、行政報告の11頁の中で数字の掲載誤りがありました。

中山間地域等直接支払制度は20年度末で期限を迎えるため「20年度末」を「21年度末」に

訂正してお詫び申し上げます。

あとがき

雨123年間で最少、水不足で農作業にも遅れが出、作物の成長にも大変な影響がでました。また、呑み水も不足し、火災になれば消火する水もないと言う現実。

平年より5日遅れて、やっと梅雨入りし少量の雨が降りほっとしているところであるが、もう少し雨がほしいものである。

さて、このたび議会の組織がえにより前期に続き全員が広報委員となり活動することになりました。

「わかりやすく読みやすい紙面作り」をモットーに今後も頑張って参ります。

森田幾弥